

子ども教育支援のプラットフォーム構築を考える —子どものための建築・まちづくり教育のこれから—

子ども教育支援建築会議は、設立から4年目を迎えます。子どもの住まい・まちづくり教育について、日頃活動をされておられる会員内外の皆様と意見を交わし、プラットフォームを確実なものにしていくため、第4回全体会議とシンポジウムを開催します。

日時：2016年6月16日（木）10:00-17:00

会場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）

- 10:00-10:15 開会の挨拶・子ども教育支援建築会議活動報告
古谷誠章（子ども教育支援建築会議運営委員長、早稲田大学教授、NASCA代表）
- 10:15-12:30 会員の活動報告（発表90分+まとめ15分+ポスターセッション30分）
子ども教育支援建築会議会員の活動資料（展示パネル※事前登録制）を会場に展示し、1人（団体）3分間程度登壇してプレゼンテーションいただき、コーディネーターが意見交換と講評などを行います。その後、各ポスターの前で、個別に質問できる（ポスターセッション）時間を設けます。
- 12:30-13:30 —休憩—
- 13:30-15:00 基調講演「方法としての絵本、そして野性の空間へ—次世代の建築・まち創生への行動を育む視覚的思考—」
講師：延藤安弘（NPO法人 まちの縁側育くみ隊代表理事）
- 15:00-15:15 —休憩—
- 15:15-16:55 討論「子ども教育支援のプラットフォームづくり」
司会：古谷誠章、パネリスト：子ども教育事業部会・学校教育支援部会・ネットワーク部会各代表1名+延藤安弘
パネリストとの討論のほか、会場参加者との意見交換を行います。
- 16:55-17:00 閉会のあいさつ

同時開催
「活動報告パネル展示」 午前のポスターセッションの展示パネルは、当日会の終了までホール内に展示します。その後事務局で保管し、大会関連行事「楽々建築・楽々都市@福岡」会場での展示を予定しています。展示をご希望の本会議会員の方は、別にお送りした応募要項を参照の上、4/22までに発表テーマ・発表者を事務局にメールにてお知らせください。

「第6回子どものまち・いえワークショップ提案コンペ」展（会場：ギャラリー、展示期間：6/5（日）-6/16（木）、公開審査会：6/5（日）13:30開始）
このコンペは、学生による子ども向け建築ワークショップ企画の提案競技です。その応募案を展示します。

基調講演「方法としての絵本、そして野性の空間へ —次世代の建築・まち創生への行動を育む視覚的思考—」 延藤安弘（NPO法人 まちの縁側育くみ隊代表理事）

主旨 知識を外から伝達する教育を超えて、子ども自らが直観的に生き生き感じることが出来る視覚的思考による内発的学習の原点を考える。かつてパトリック・ゲティスは3つのH学習、Heart/Hand/Headが、共感をもって協働し統合的認知に至ることを示した。絵本は、内なる笑い（Heart）とふるまいの楽しさ（Hand）と包括的知覚（Head）の連鎖を触発するメディアであるが、その意味から「方法としての絵本」の可能性について考える。加えて、機能・管理に偏重した空間を超えて、子どもが日常・非日常にわたって多様な体験ができる「野性の空間」の必要性と可能性について考える。子どものための建築教育支援のこれからの考えるにあたり、設計や技術の専門のあり方へのリフレクティブな（自省的）視点を問い直し、あるべき建築・まち創生への次世代の行動を育む方法を共に明らかにしていきたい。



布絵まちタンケン—まちのタンケン・ハッケン・ホットケンから視覚的表現へ。



コーポラティブ住宅Uコート—子どもは水・緑・土に触れられる集住環境で育つ

参加費：無料 / 定員：200名—子ども教育支援建築会議会員外の方もご参加いただけます
申込方法：ホームページ（<http://www.aij.or.jp>催し物・公募欄）、もしくは氏名・所属・連絡先を明記の上、下記のE-mailまたはFAXでお申し込みください
問合せ：子ども教育支援建築会議事務局 三島隆 E-mail: mishima@aij.or.jp TEL.03-3456-2051 FAX.03-3456-2058

主催：日本建築学会 子ども教育支援建築会議
後援予定：日本建築士事務所協会連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、こども環境学会